

## 1 施策・事業を実施する目的

### 市民皆様の満足度の向上

高齢者福祉の課題  
交通利便性の課題  
人権意識の課題  
学校教育の課題  
子育て支援の課題  
生活の安全の課題

すべて必要なまちの課題であるが...

## 2 人口減少社会、少子高齢社会、持続的発展の時代

もっと効率よく財源とマンパワーを投入するべき

今特に（次の予算で）、優先すべきは何か？

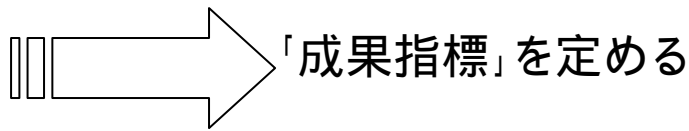
高齢者福祉の課題か？  
交通利便性の課題か？  
人権意識の課題か？  
学校教育の課題か？  
子育て支援の課題か？  
生活の安全の課題か？

？

客観的なデータが

不十分だった...

### 3 データを測定し、目標値を定める必要性



#### 「成果指標」とは？

事業や施策の達成度を客観的に判断できるような一定の数字。

〈例〉

高齢者福祉の課題...「不安なく充実した生活を送っている」  
と考える高齢者の割合  
安全な生活の課題...犯罪の発生率  
人権意識の課題 ...「差別に正しく行動できる」と答える  
市民の割合  
:

### 4 成果向上余地の大きさが、優先すべき施策を判断する一つの基準になる。

どれが大きいか。現状から下落させてはいけない。

施策単位で進捗管理

= 総合計画(実施計画)の重要な役割

「成果向上余地」= { 目標値 - 現状値 }

± 「成果向上の可能性」

± ……

## 5 施策の目的を実現するための手段

= 「事務事業」

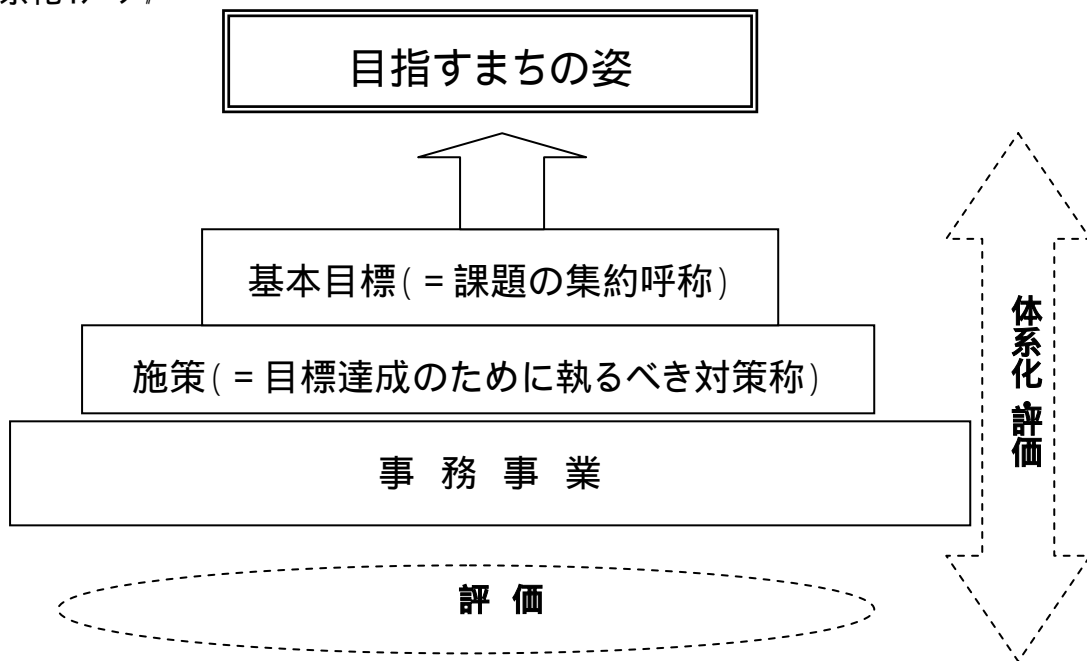
この事業は、どの施策の目標を達成する目的か？

この施策の成果向上のために、どんな事業がどのくらい必要か？

(政策形成)

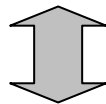
## 6 「施策～事務事業の体系化」と「施策・事務事業の評価」

(体系化イメージ)



(施策評価)

どの施策の「成果向上余地」が大きいか??



(事務事業評価)

目的妥当性 「施策の成果向上に効いているか」 スクラップ&ビルドへ  
合理性・効率性 「もっと安く、もっと早くできないか」 事業の制度・手法改善へ  
行政関与妥当性 「市行政が関与すべきか」 「市民協働の社会」へ  
優先性 「あれもこれも」から「まずすべきことは何か」